

「銚子市水道 新宿取水場」を見学させていただきました！

令和元年11月11日（月）に職員10名で銚子市の水道用水取水施設である新宿取水場を見学させていただきました。

銚子市は、我々が管理する利根川河口堰及び黒部川水門の目的の一つである水道水の供給先となっています。その取水施設が新宿取水場です。新宿取水場は昭和44年度から稼働しており、新宿取水場で黒部川から取水した水は約19km離れた本城浄水場に送られて浄水処理された後は銚子市の東地区に給水され、その給水量は銚子市水道水源の約8割を占めているそうです。

はじめに概要をご説明いただいた後、高度浄水処理施設を見学しました。高度浄水処理施設には、ハニコム（蜂の巣）チューブに微生物を繁殖させてその働きにより水を処理する“前処理槽”と粒状活性炭（平均粒径0.6mm）に微生物を繁殖させ、その働きを利用した自然浄化と活性炭の吸着処理の両面から、異臭味成分やトリハロメタン生成の原因となる有機物質などを処理する“生物活性炭処理槽”が設置されていました。この施設は、黒部川の水質障害に対処するため建設され、平成16年度から稼働されています。

また、その屋上からは黒部川から取水するための“取水塔”や取水した水の砂や泥を取り除く“原水槽”、高度浄水処理施設の各槽を洗浄する過程で発生する汚泥を水と分離する“回収槽”がある建物、回収槽から送られてきた汚泥を天日で自然乾燥する“天日乾燥床”など取水場内を一望することができました。そのほか、取水ポンプ室、取水ポンプ電気室、粉末活性炭注入棟、電気棟を見学しました。

この見学を通して、黒部川の水を取水して本城浄水場に送水されるまでの工程や新宿取水場が銚子市の水道施設として重要な役割を果たしていること、また安全で良質な水道水の供給に常にご尽力されていることを改めて勉強させていただくことができました。

最後に、ご案内いただいた銚子市水道部本城浄水場の皆様にお礼を申し上げます。

高度浄水処理施設屋上での説明状況



黒部川からの取水施設“取水塔”

